

年度当初学校訪問

年度当初の学校の現状を把握するため、4月から5月にかけて、日置市、いちき串木野市、三島村の小・中・義務教育学校を訪問させていただきました。また、十島村については今年度は、加藤晴彦義務教育課長をはじめ義務教育課にも参加していただき、テレビ会議システムを活用したリモートによる全小・中校訪問もさせていただきました。

各学校では、子供たちの夢の実現に向けて、学力の向上、心の居場所づくりや絆を実感できる学級づくり、たくましい体を育むための教育活動が展開されていました。

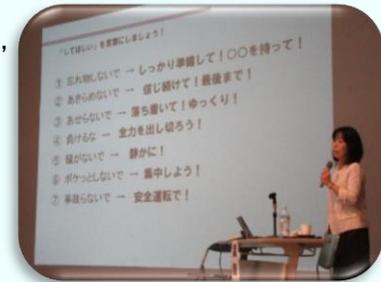
将来の予測がますます難しくなるこれからの社会を生き抜く子供たちを育てるためには、多様な人々と協働しながら、自ら問いを立て解決に繋げていく教育活動が必要です。その営みが今後更に充実していくことを期待しております。



テレビ会議システムを活用した十島村の学校訪問

日置地区PTA正副会長等研修会

7月3日(土)に日置市中央公民館において、日置地区PTA正副会長等研修会を開催いたしました。講師に川添まり子さんをお招きし、「やる気を引き出す言葉かけ～ペップトークを活用することで～」と題して講演をしていただきました。参加された方々は、メモをとるなどして真剣な表情で聞き入っていました。「ワクワクを広げる良質な質問」を活用して子供のやる気を引き出し、前向きに生きていこうとする態度を育むポイントについて、具体例を示しながらわかりやすく話してくださいました。感想としては、「子供たちに要求ばかりしてしまい、反省しました。ドリームサポーターになれるようにしたいです。」「言葉というものがものすごく大事だとわかりました。子供への声掛けを変えてみようと思います。」等がありました。親としての役割、子育てについて多くの示唆を与えてくださいました。今後のPTA活動に生かしていただければと思います。



日置地区小・中学校道徳教育研修会

今年度は6月1日(火)いちき串木野市立串木野小学校、串木野西中学校において、地区小・中・義務教育学校道徳教育研修会を校内研修として開催しました。「豊かなかかわりを通して、よりよく生きる力を高める道徳教育の在り方」という研究主題を基に、両校とも特定の価値を押し付けるのではなく、子供一人一人が考え、議論することで多様な考え方や感じ方に接し、よりよい生き方を志向していく道徳の授業が展開されており、大変有意義な研修会となりました。今後も各学校において、道徳教育の充実をお願いします。



【串木野小学校】



【串木野西中学校】

フレッシュ研修(初任校研修)

本年度、日置地区には小学校に12人、中学校に6人、計18人が新規採用教員として赴任しています。6月3日(木)伊作小学校と伊集院中学校を会場に教科指導の研究授業研修を実施しました。また、7月8日(木)にはいちき串木野市教育委員会市来庁舎に串木野養護学校の高野先生にお越しいただき他校種参観研修を実施しました。二つの研修を通して新任教員としての資質向上を図り、実践意欲を高めました。



【研究授業研修】



【他校種参観研修】

日置地区生徒指導担当者等研修会

5月25日(火)、日置市中央公民館において日置地区生徒指導担当者等研修会を開催しました。

当日は県教育庁義務教育課企画生徒指導係の吉留主任指導主事より、「当面する生徒指導上の課題と対応」についての講話や「学校における不登校への対応」についての研究協議を行いました。

全ての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう「居場所づくり」「絆づくり」に努めることについて再確認しました。



コアスクールプロジェクト第1回校内研修

7月5日(月)、伊集院中学校を会場にコアスクールプロジェクト第1回校内研修を実施しました。このプロジェクトは、授業改善及び授業力の向上を目指した研修等に先進的に取り組み、実践を県下に広げることにより、教員の授業力及び児童生徒の学力向上に資することをねらいとしています。3年社会科の授業を全教職員で参観した後、鹿児島大学教育学部の廣瀬准教授から授業研究の実践及び校内研修についての講義をしていただいたり、演習を行ったりしました。

本プロジェクトで得られた成果等については、今後、機会を捉えて、随時紹介していきたいと考えています。



【廣瀬准教授による指導】



【研修の様子】

地区養護教諭等研修会

6月15日(火)、日置地区養護教諭等研修会を開催しました。

当日は、県教育庁保健体育課学校体育安全係の池亀指導主事による講演が行われました。「心と体の健康について」という演題で、ストレスマネジメントに関する内容を中心に、「動作法」等の実技を交えながらの講演でした。また、漸進性弛緩法などの方法等についての話もありました。

コロナ禍で生活している今、日常のストレスをコントロールし、上手につき合うことの大切さを学ぶことができました。

児童生徒自身が適切なストレス対処法を身に付け、自己管理能力を高めていくことを願います。



7/21~8/31

水難事故防止運動強調期間

「水に親しみながら 3M運動

みんなでめざそう 水の事故ゼロ」

水の事故防止の徹底を図りましょう！

8/1~8/31

人権同和問題啓発強調月間

様々な人権問題を自分自身のこととして捉え人権について考えてみましょう。

青少年育成の日 毎月第3土曜日

家庭の日 毎月第3日曜日

異年齢集団による地域活動と家族団らんの機会をつくりましょう。

改めて思うことだが、日常の学校生活は様々な人の支えがあって成り立っている。先生方や保護者の方々ももちろん、登下校を優しく見守る方々、おいしい給食を作ってくださる方々、学校の教育活動に協力を惜しまない地域の方々、そして子供たち。当たり前のように思える「日常」は本当に貴重で尊い。

いよいよ夏休みが始まる。いろいろと制限はあるだろうが、子供たちには、当たり前の「日常」に感謝しつつ、ちよっとした「非日常」を大いに楽しんで成長してもらいたい。

赴任して三か月が経った。自分にとっては「新しい日常」。まだまだ不慣れな点は多いが、周囲に助けられ日々過ごしている。四月以降、管内の学校を訪問させていただいて。子供たちが生き生きと授業に臨んでいる姿や友達と家庭で遊び回っている姿を見ると、ワクワクするし、嬉しくもなる。数十年前ぶりに頂いた給食に感激すらする。「やっぱり学校っていいな！」と思う。

コロナ禍にあり、それまでの「日常」が大きく変わった。昨年度は、「一斉休校」に伴う夏休みの短縮などもあった。各種行事や大会が中止や内容変更を余儀なくされ、やり場のない悲しみや悔しさに暮れる人々の姿もあった。コロナ収束も兆しが見えない中で、今年度もできる限りの感染症対策を講じながら、学校行事の在り方を模索し、子供たちができるだけ多くの「日常」を体験させるべく尽力していただいている各学校の先生方には頭が下がる思いである。

貴重で尊い「日常」
鹿児島教育事務所
所長 新留 克郎